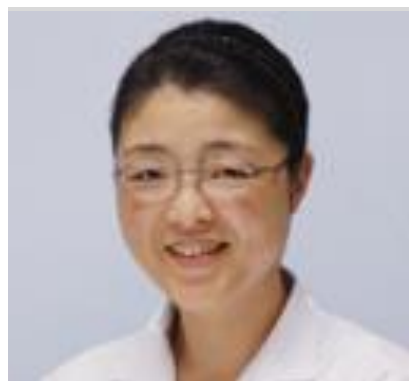


# 小児がん経験者の健康状況を把握し 自己健康管理を促進する



氏名 小澤 美和

所属 小児科

[https://hospital.luke.ac.jp/guide/36\\_pediatricians/index.html#shinryokastaff-content](https://hospital.luke.ac.jp/guide/36_pediatricians/index.html#shinryokastaff-content)

役職 部長

研究分野 小児科学、小児リエゾン

・小児がん経験者の長期フォローアップに関する研究

・重篤な疾患を持つ親とその子どもの心理社会的研究

## ◆ 研究シーズの概要 ◆

過去には不治の病であった小児がんですが、現在までに治癒率が劇的に改善し、小児がん経験者（childhood cancer survivors; CCSs）の8割以上が長期生存可能な時代となっています。一方で、晩期合併症を抱えるCCSsは多く、海外からの報告ではCCSsの95%が45歳時点で何らかの晩期合併症を抱えていると報告されています。欧米からはCCSsの前向きフォローアップ研究結果が多数発表されていますが、日本国内では前向き研究のデータは存在しません。我々は、聖路加国際病院と聖路加予防医療センター協働により、包括的健診（人間ドック）を用いたCCSsの研究を実施しています。欧米とは遺伝的背景や生活様式が異なる日本でのCCSsの晩期合併症の真の現状を明らかにし、予防対策を確立することで、CCSsの自己健康管理を確かなものにして、より良い健康的な生活を送っていただけるようにすることを目的としています。



## ◆ 共同研究・受託研究のご提案 ◆

- 人間ドックと協働したCCSsの前向き包括的健診研究
- 日本人CCSsにおける晩期合併症の実情とその発症関連因子の解明
- CCSsの健康管理による晩期合併症予防の評価

## ◆ アピールポイント ◆

- 日本初のCCSsの長期フォローアップに関する前向き研究です。
- 日本独自の人間ドックシステムを活用し、晩期合併症の効率的なフォローアップシステムの構築を目指しています。
- CCSsの生涯にわたる自己健康管理を確かなものとし、より良い健康的な生活を送っていただくことを目的としています。